資料１－２

宮城県加齢性難聴市町村支援事業

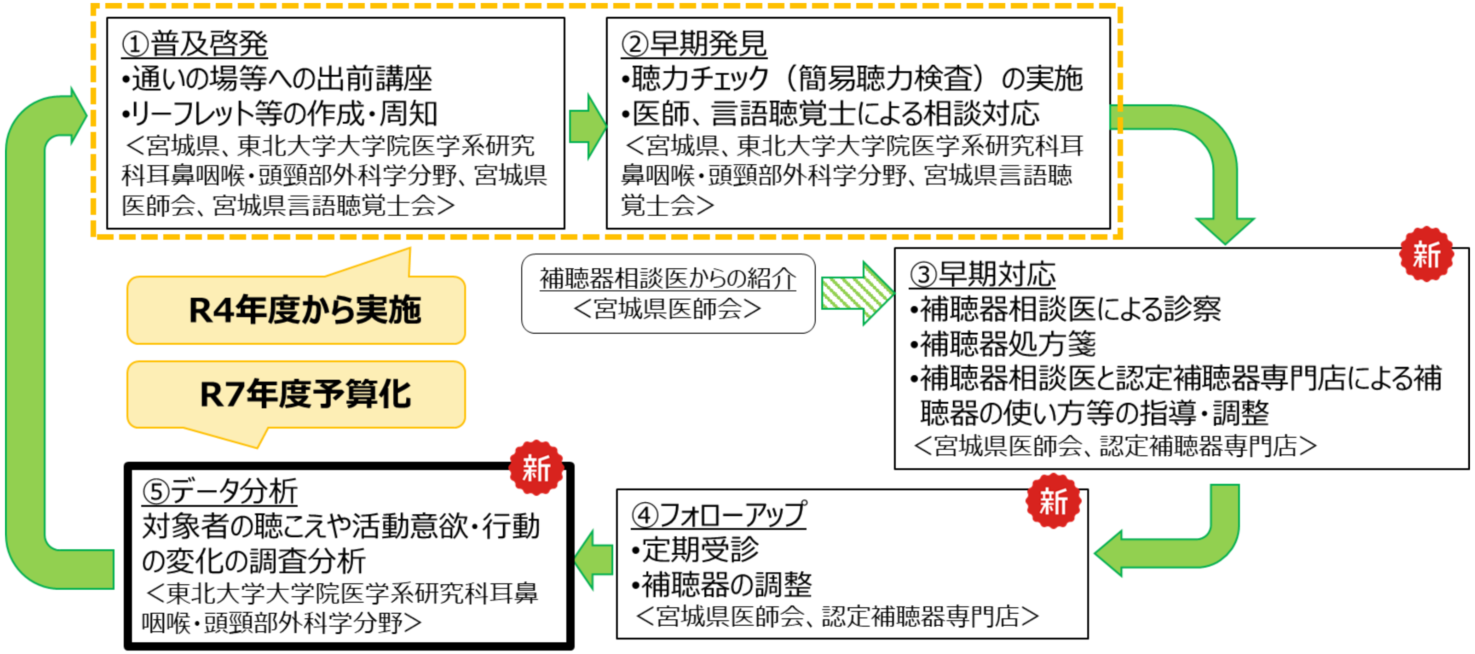
目的

高齢者の地域交流及び社会との繋がりを支援し、認知症及びフレイル予防に資するため、「聴こえ」の状態の低下への早期発見・早期対応を行い、人とのコミュニケーションや社会活動への参加を促進することで、高齢者の社会的孤立を防ぐとともに介護予防や認知症予防、ひいては健康寿命の延伸に繋げることを目的とする。

協力機関

（１）公益社団法人宮城県医師会
（２）宮城県言語聴覚士会
（３）公益財団法人テクノエイド協会
（４）東北大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野難聴地域医療学

事業の流れ



普及啓発事業（出前講話）について

住民等向けの講演会、通いの場での出前講話等への講師（東北大学）派遣を実施するもの

○派遣実績（予定を含む）

・派遣回数　　17回　（R6:14回）

・派遣市町村　11市町（仙台市、石巻市、気仙沼市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、富谷市、村田町、利府町）（R6：6市町）

・延べ参加者数（申込ベース）　535人　（R6：475人）

データ分析について

当該事業で実施するデータ分析として、鼻咽喉・頭頸部外科外来通院中の難聴患者を対象に補聴器を装用前後での意欲や行動面の変化に関する調査を行い、補聴器装用による聴覚機能の向上が患者の意欲や行動にどのような影響を与えるかを明らかにするもの

【調査概要】

○調査対象病院：５病院（東北大学病院、石巻市立病院、登米市民病院、気仙沼市立病院、みやぎ県南中核病院）

○調査対象数　：１００人程度

○調査内容　　：年齢、性別等の臨床データに加え、HHIE（難聴高齢者のハンディキャップスクリーニング検査）HADS（病院不安抑うつ尺度）、IADL（手段的日常生活動作）に関すること　等

※参考　保険者機能強化推進交付金等（インセンティブ交付金）該当状況調査における加齢性難聴支援の取組状況　（単位：市町村数）

	R6	R7	増加数
ア　普及啓発の取組を行っているか	17	33	+16
イ　早期発見の取組を行っているか	10	22	+12
ウ　受診状況の把握と未受診者への再度の受診勧奨を行っているか	6	13	+7
エ　受診勧奨者のうち50%以上の者が受診しているか	4	11	+7